

中学校給食無償化実現！

伊丹市の2024年度予算(案)が発表され、市民と党議員団が長年要望してきた学校給食の無償化が、中学校に限ってですが来年度から実現します。阪神間では初めてとなります。

党議員団は、1,012筆にのぼる市民から寄せられた学校給食費の無償化と子どもの医療費完全無料化を求める要望書を、2月14日に市長に提出しています。

一方、昨年12月議会では、女性団体から「学校給食の無償化に向けて、可能なところから伊丹市独自の施策を求める請願」が提出されましたが、自民・公明・維新などの会派の反対で否決されています。

伊丹市は「子育て世帯の負担を軽減するため、教育費の負担が大きい中学生について無償化し、小学生については食材費高騰による負担を軽減する」とし、約3億3千400万円の予算を措置しました。

党議員団は、引き続き小学校における給食費無償化、子どもの医療費通院費も含めた無料化を求めてがんばります。



市民から寄せられた学校給食無償化等を求める要望書を伊丹市秘書課長に手渡し、服部・かしば両議員。

日本共産党
伊丹市議員団
ニュース

第423号
発行
2024年
2月21日

伊丹市千僧1-1
784-8114
(直通)

その他、2024年度予算で提案されている内容の一部を紹介

- 稲野児童くらぶ改修工事、南児童くらぶ施設整備 21,614千円
稲野は1支援室設置・トイレの増設、南は実施設計
- 民間児童くらぶ誘致 25,200千円
希望者の増加や多様化するニーズへの対応
- 私立保育所整備 435,926千円
60名規模の保育所2施設整備
- 学校給食における有機野菜等活用 998千円
中学校給食に有機栽培によるコメや野菜を活用
- 学校体育館空調設備整備 516,400千円
すべての学校体育館に2年間で空調施設を整備
- 子ども電子図書館事業 6,750千円
幼児から中学生を対象に、学校や家庭などでいつでも読書ができるように
- 新生児聴覚検査費用助成金 340千円
聴覚障害の早期発見・育成を図るため、市民税非課税世帯に検査費用を助成
- 地域密着型サービス施設整備補助 400,272千円
介護施設に必要な工事費等を補助

- 市営住宅耐震補強工事、住戸タイプの小型化工事 464,200千円
玉田団地6号館で、高齢者の住宅確保のため住戸を小型化(1住戸を2分割)
- 期日前投票所の拡充 4,412千円
大型商業施設へ期日前投票所を新たに設置、2025年度から実施予定、来年度はその準備
- 新庁舎整備工事・外構工事・市民広場備品調達他 1,898,813千円
旧庁舎跡地の地下躯体整備、駐車場の整備、市民広場の外構工事など



詳細は伊丹市のホームページで見ることができます。



服部よしひろ かしば ふみ
090-9044-0925 090-5464-9733

日本共産党伊丹市議会議員団
<https://jcp-itami.org/>

近畿中央病院の跡地活用に関して

伊丹市、近畿中央病院、公立学校共済組合が説明会開催

2月18日午後1時半から「ラストホール」多目的ホールで開かれた説明会には、尼崎市民を含め188名が参加し25名の方から質問や意見が出されました。

市立伊丹病院と近畿中央病院の統合再編の背景や経過説明を伊丹市が行い、答弁は伊丹市、近畿中央病院、公立学校共済組合が行いました。

ようやく開かれた「説明会」

今回の説明会は、近畿中央病院周辺住民の方々が、「統合再編後の近畿中央病院はどうなるのか。跡地にどのような病院がいつできるのか」などの疑問と不安を長年訴えてきた中で、市の「統合新病院建設」が動き出したのを機会に行われました。

地域医療は切れ目なく継続を

統合新病院が稼働し、近畿中央病院が廃止されたのちに跡地医療機関を誘致する計画で、3～5年間の空白時期が生じることへの不安が出されました。

市は、近中のすべての患者は新病院に受け継がれることを改めて説明しました。

高齢者や障がい者を含めた新病院への交通アクセスに対する強い懸念が出されました。

近中跡地には「回復期病院」を誘致 STEP1《誘致医療機関の要件整理》 のため、事業者事前アンケート調査実施

市は、事前アンケート調査をもとに来年のこの時期に再度説明会を催すことを表明しました。

具体的な跡地病院の中身はこのアンケートと事業者ヒアリングをもとに練り上げていく考えです。

当日参加者にもアンケートが実施され、地域の要望も集約していくことが求められます。

「統合再編」は国の進める「地域医療構想(2015年作成)」が背景に

国は「高齢化と人口減少などが大きく変化する2025年をめどに、限られた医療資源を有効活用し、行き届いた医療を提供する」と「地域医療構想」を推進してきました。しかしその実態は医療を「高度急性期」「急性期」「回復期」「慢性期」に区分けし、医師や看護師・医療資源を上により厚く配分し、回復期・慢性期は医師も看護師も極端に少ない配置にして、全体として国が支出する医療費を大幅に削減することを目的としています。

2024年3月議会日程

月	日	曜日	本会議	委員会
2	21	水	予算提案	
	22	木		総務政策常任委員会
	26	月		文教福祉常任委員会
	27	火		都市企業常任委員会
	29	木	代表質問	
3	1	金	代表質問	
	4	月	個人質問	
	5	火	個人質問	
	6	水	個人質問	
	7	木	(予備)	

月	日	曜日	本会議	委員会
3	8	金		予算等審査特別委員会 (総務政策分科会)
	11	月		
	12	火		予算等審査特別委員会 (文教福祉分科会)
	13	水		
	14	木		予算等審査特別委員会 (文教福祉分科会)
	15	金		
	21	木		予算等審査特別委員会 (全体会)
	26	火	最終日	